

令和 6 年度 運営に関する計画

令和 6 年 4 月
大阪市立敷津浦小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の課題としては、豊かな人権感覚を身に付けさせると共に、「基礎・基本的な学力の定着と向上」「基本的な生活習慣の育成」「教師の指導力の向上」があげられる。

「基礎・基本的な学力の定着と向上」については、普段の授業による教科指導だけでなく、家庭での学習の充実等も含めた教育活動全体の取り組みを通して、基礎・基本の定着と学ぼうとする意欲(学習意欲)を向上させていくことが大きな課題である。また、若手教員が多い現状からも「教師の指導力の向上」が喫緊の課題である。人権教育を柱とした本校の特色ある取り組みを継承・発展させるとともに、教科・領域等での基本的な指導力の向上を図り、児童が「わかりやすい」「楽しい」と思えるよう、指導力の向上に取り組んでいかなければならない。また、学習用端末についても積極的に活用し、個別最適な学び、協働的な学びの実現へとつなげていかなければならない。

「基本的な生活習慣の育成」については、自立した生活態度につなげていくことから児童への指導と共に、保護者への働きかけも行っていく必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】****基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現**

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する割合を65%以上にする。
- ・令和7年度の校内アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】**基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上**

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
- ・令和7年度の校内アンケートにおける「学校の勉強がよくわかる」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を93%以上にする。

基本的な方向5 健やかな体の育成

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに2ポイント向上させる。
- ・令和7年度の校内アンケートにおける「体育の学習が楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を93%以上にする。
- ・令和7年度の校内アンケートにおける「健康に気をつけている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を全体の93%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】**基本的な方向6 デジタルDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進**

- ・令和7年度の校内アンケートにおける「学習端末を使って自分で学習することができる」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を全体の90%以上にする。
- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。
- ・令和7年度の校内アンケートにおける「学習端末を使って自分で学習することができる」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を全体の85%以上にする。

基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1(1か月の時間外勤務時間45時間以内かつ1年間の時間外勤務時間360時間以内)を満たす教職員の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現

- ・今年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%にする。
- ・今年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する割合を 60%以上にする。
- ・今年度の校内アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 88%以上にする。

基本的な方向 2 豊かな心の育成

- ・今年度の人権デーの実施アンケートにおいて「よく考えた」と答える児童の割合を 82%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上

- ・今年度の小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。
- ・今年度の校内アンケートにおける「学校の勉強がよくわかる」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 92%以上にする。

基本的な方向 5 健やかな体の育成

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに 1 ポイント向上させる。
- ・今年度末の校内アンケートにおける「体育の学習が楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。
- ・今年度末の校内アンケートにおける「健康に気をつけている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を全体の 90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 6 デジタル DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。
- ・今年度の校内アンケートにおける「学習端末を使って自分で学習することができる」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を全体の 85%以上にする。

基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ・令和 7 年度における第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（1 か月の時間外勤務時間 45 時間以内かつ 1 年間の時間外勤務時間 360 時間以内）を満たす教職員の割合を 80%以上にする。

基本的な方向 8 生涯学習の支援

- ・今年度の校内アンケートにおける「読書が好き」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を全体の 85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立敷津浦小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%にする。 ・今年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する割合を60%以上にする。 ・今年度の校内アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を88%以上にする。 基本的な方向2 豊かな心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の人権デーの実施アンケートにおいて「よく考えた」と答える児童の割合を82%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや問題行動の未然防止に努め、いじめの早期発見、早期解決に取り組む。 ・起こったいじめに対して、大阪市いじめ対策基本方針及び敷津浦小学校いじめ対策基本方針に基づいて適切に対応する。 ・毎月、各学年で児童の様子を記録した文書を作成し、生活指導部を中心に全職員で共通理解を図る。 <hr/> 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを学期に2回以上実施し、認知したいじめをすべて解消する。 	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育を推進し、児童や教職員の人権感覚の育成、向上を図る。 ・人権デーを学期に1回実施する。実施後には振り返りや共通理解を図り、児童の互いを大切にしていこうとする態度を養う。 <hr/> 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の人権デーの実施アンケートにおいて「よく考えた」と答える児童の割合を82%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立敷津浦小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上 <ul style="list-style-type: none">・今年度の小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。・今年度の校内アンケートにおける「学校の勉強がよくわかる」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 92%以上にする。 基本的な方向 5 健やかな体の育成 <ul style="list-style-type: none">・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに 1 ポイント向上させる。・今年度末の校内アンケートにおける「体育の学習が楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 <ul style="list-style-type: none">・基礎、基本の確実な習得を図るために昼の学習の時間に算数タイムを設ける。・算数科の授業において、児童が 1 時間の学習過程が分かるノートの使い方を身につけられるように指導する。・教員の指導力向上をめざし、校内研修（メンター研修等）を企画し、計画的に実施する。・全教員が対話的な学習をめざして、1 回以上の研究授業を行う。	
指標 <ul style="list-style-type: none">・校内アンケートにおける「学習に進んで取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 88%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 <ul style="list-style-type: none">・「体づくり運動」などを実施し、児童が体育を楽しんでいる場を設定する。・「かけあし週間」や「なわとび週間」などを実施し、学習カードを活用することで児童の学習意欲を高められるようにする。	
指標 <ul style="list-style-type: none">・校内アンケートにおける「体育の授業が楽しい」の項目について肯定的な回答を 90%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童がハンカチを身につけ、手洗い・うがいの後に手をふく習慣をつけることができるよう指導を行う。 ・週に1回、保健委員会が各学級をまわり、ハンカチ・ティッシュを身につけているかチェックを行い、あいうべ体操を実施する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケートで「健康に気をつけている」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例 2)

大阪市立敷津浦小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 基本的な方向 6 デジタル DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 <ul style="list-style-type: none">・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。・今年度の校内アンケートにおける「学習端末を使って自分で学習することができる」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を全体の 85% 以上にする。 基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり <ul style="list-style-type: none">・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（1 か月の時間外勤務時間 45 時間以内かつ 1 年間の時間外勤務時間 360 時間以内）を満たす教職員の割合を 80% 以上にする。 基本的な方向 8 生涯学習の支援 <ul style="list-style-type: none">・今年度の校内アンケートにおける「読書が好き」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を全体の 85% 以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6 デジタル DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 <ul style="list-style-type: none">・子どもたちが、デジタル教材や協働学習支援ツールを用いた学習を週 3 回以上実施する。・デジタル教科書を積極的に活用することで学習効果を高める。・Teams を活用して学習できる環境整備を行う。 指標 <ul style="list-style-type: none">・校内アンケートにおける「学習端末を使って自分で学習することができる」の項目について、肯定的回答の割合を 85% 以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 <ul style="list-style-type: none">・教職員が勤務時間を意識しながら日々の業務にあたることで、業務におけるパフォーマンスを上げられるようにする。・週に 1 回「ゆとりの日」を設定し、できる限り定時での退勤を促す。 指標 <ul style="list-style-type: none">・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（1 か月の時間外勤務時間 45 時間以内かつ 1 年間の時間外勤務時間 360 時間以内）を満たす教職員の割合を 80% 以上にする。・「ゆとりの日」において、17：30 までに退勤する教職員の割合を 85% 以上にする。	
取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】	

<ul style="list-style-type: none">・子どもたちが、様々なジャンルの本に読書の幅を広げられるように、学校司書等の人材と協働しながら図書館の本の配置を工夫し、環境整備を行う。・図書館利用回数や年間貸出冊数を増やすために、多読者の表彰や読書月間を実施するなどの取り組みを充実させる。・読書に対する意欲向上のために、学校司書や市内の図書館と協働し、読み聞かせやお話の会などの取り組みを充実させる。	
指標	
<ul style="list-style-type: none">・校内アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について肯定的回答の割合を 85% 以上にする。(昨年度 85%)・今年度の貸出冊数について、昨年度の数値を上回るようにする。(昨年度 17676 冊)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	